

トピックス

Topic.01

乗合タクシー「愛タク」 運行を開始しました

乗合タクシー（愛称「愛タク」）が、事前予約制のデマンド型として運行を開始。運行初日には、しるくるひろば（市庁舎前ひろば）で出発セレモニーを行い、関係者らがテープカットでその門出を祝いました。



1月4日

Topic.02

コロナの終息も願う 富岡製糸場で「繭玉飾り」

繭の豊作と無病息災を願う繭玉飾りが、富岡製糸場の東置繭所に飾られました。地元につながる小正月の風習を知ってもらおうと、甘楽富岡蚕桑研究会が高さ約3メートルのヤマボウシの枝先に、赤・白・緑の繭玉に見立てた団子を飾り付けました。



今年は新型コロナウイルスの終息も願い、飾り付けが行われました。

1月9日~17日

Topic.03

今年も交通安全を 交通指導隊年頭点検

市民を交通事故から守り、交通安全に取り組んでいる市交通指導隊の年頭点検がしるくるひろば（市庁舎前ひろば）で行われました。隊長の杉山芳夫さん（岡本）の号令で指導員が整列。点検官らが観閲した後、指導員は各自が所持する手帳を提示したり警笛を鳴らしたりして点検を受けました。



1月7日

Topic.04

防災への決意新たに 消防隊出初式

生涯学習センターで市消防隊出初式が行われました。新春の澄んだ空気の中、駐車場に整列した消防隊員と消防車の前を、市長・副市長が観閲しました。また、ホールで開かれた式典では、永年にわたって地域の防災に尽力した団員や消火活動に協力した人たちが表彰されました。



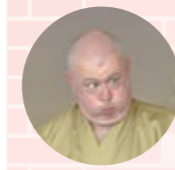
観閲する市長・副市長と消防隊員

1月10日

Topic.05

巧みな話芸で魅了 日仏交流落語公演会

富岡製糸場の首長館で、フランス人落語パフォーマーのシリル・コピーニさんによる日仏交流落語公演会を開催しました。公演会では、クイズ形式でフランス文化を紹介した他、フランス語と日本語を織り交ぜた同時通訳落語などを披露し、会場を沸かせていました。



同時通訳落語「寿限無」や「ちりとてちん」などの演目を披露しました。

1月16日

Topic.06

多様性と共生を考える 心のバリアフリー研修会

市の共生社会ホストタウン事業として、市役所で心のバリアフリー研修会を行いました。講師には、障害当事者であるDETT群馬代表の飯島邦敏さんを迎え、参加者はイラストやビデオから「障害とは何か」を考え、理解を深めていました。



講師の飯島さんらがファシリテーター（進行役）を務め、研修が行われました。

1月16日

Topic.07

お父さん、ありがとう 「父の日大会」で作文朗読

生涯学習センターで、市父の日大会を開催しました。父の日作文の最優秀9作品、優秀7作品の表彰が行われ、併せて父親へ花束贈呈が行われました。また、最優秀受賞作文の朗読も行われ、普段はなかなか言えない父親への感謝や尊敬の気持ちを一生懸命に読み上げました。



子どもたちの作文の朗読で、会場は感動に包まれました。

1月16日

Topic.08

郷土の画家 高橋三兄弟 作品集を市に寄贈

郷土の画家 高橋三兄弟作品集編集委員会（委員長 高橋伸二さん）が、岩染出身の画家、高橋澤三・五郎・重朗の業績をまとめた作品集を市に寄贈しました。作品集は、昨年開催の美術博物館企画展を機に編さんされ、明治時代に生まれた3人の履歴や作品などが多数掲載されています。



作品集は美術博物館で販売（1,500円）しています。

12月16日